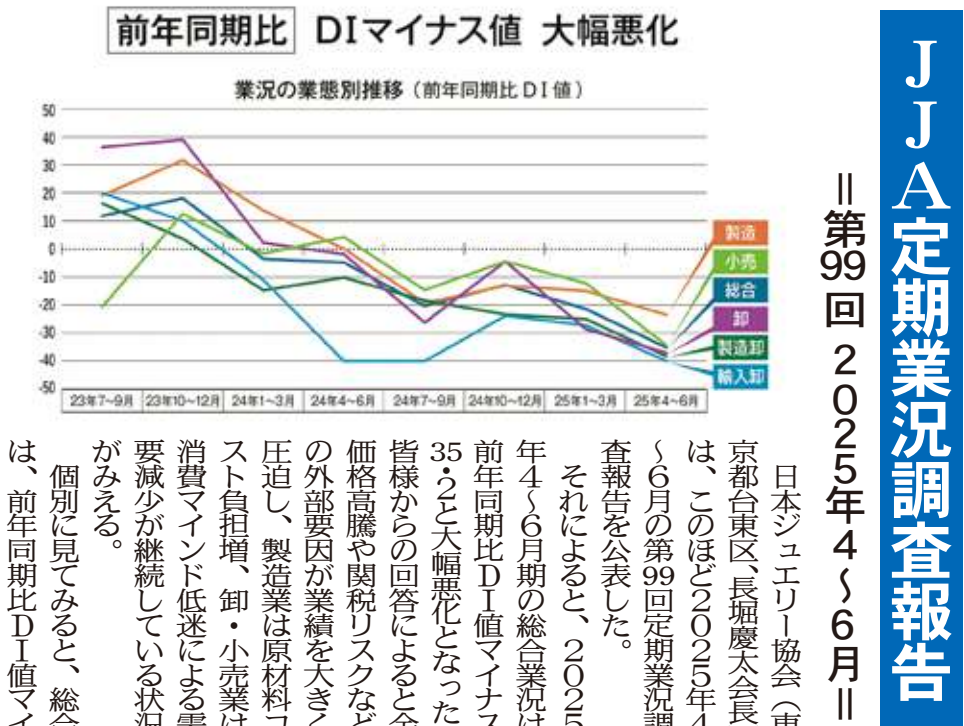


6月10日「時の記念日」を祝日!! 時計工藝新聞社は提唱しています



JJA定期業況調査報告

第99回 2025年4〜6月

日本ジュエリー協会(東京都台東区、長堀慶太会長)は、このほど2025年4〜6月の第99回定期業況調査報告を発表した。

それによると、2025年4〜6月期の総合業況は前年同期比D1値マイナス35.0と大幅悪化となった。皆様からの回答によると金価格高騰や関税リスクなどの外部要因が業績を大きく圧迫し、製造業は原材料コスト負担増、卸・小売業は消費マインド低迷による需要減少が継続している状況がみえる。

個別に見てみると、総合は、前年同期比D1値マイナ

ナス35.2と大幅悪化。中立比率41.7%で現状維持とする企業が多いが、「良い」と答える企業は少数。先行きも業況D1値マイナス29.9と底打ち感なく、業界全体の低迷継続見通し。

一方、利益率の中立比率は前年同期比63.4%と安定傾向続く。

製造業況の前年同期比D1値マイナス23.5だが、中立比率64.7%で「変わらず」とする層が厚い。仕入高D1値プラス29.4で、原材料高によるコスト負担増加。価格転嫁の難しさが浮き彫りに。利益率D1値は大きく落ち込むものの、中立比率は64.7%で安定推移が目立つ。

製造卸業況はD1値マイナ

ナス38.3、中立比率41.7%と大幅悪化。とくに売上高D1値マイナス35.0、中立比率28.3%と一段と悪化傾向。先行きも業況D1値マイナス40.0とさらに悪化予想。

輸入卸業況はD1値マイナ

ナス40.0で最大の悪化幅。ただし中立比率60%と現状維持とする企業も存在。

卸業況は前年同期比D1値マイナス37.1、中立比率37.1%と厳しい。

小売業況は前年同期比D1値マイナス34.4、中立比率34.4%と依然として厳しい状況。ただし利益率の中立比率は64.1%と高い。

そして、上半期(1〜6月期)の業況および業界状況、商品の動き、そして下

半期(7〜12月期)の見通しについては以下の通り。

製造は、金価格高騰で原材料コスト上昇、価格転嫁困難。7月以降新型商品依頼増加の動きも。

製造卸は、地金高騰で利益薄まる、プラチナ転換で対応。販売量減も金額増顧客明暗分かれる。

卸は、地金系商材順調もブライダル苦戦継続中。中国向け減少、欧米系定期オーダー伸長。

輸入卸は、関税問題影響で様子見継続、回復に時間要する。企業努力で生き残り図るも、厳しき予想。

小売は、金製品動き活発も客数減少が大きな課題。催事類の傾向強、店頭来店者減少——としている。

〈お知らせ〉★これまでの3カ月毎に実施していた「定期業況報告」は今期第99回をもって終了することとなりました。今後は、より包括的かつ戦略的な情報発信を目的とした新たな方法を検討してまいります。

20年の変化で見る 夫婦の時間

全国の既婚男女400人に聞いた最新結果を発表

夫婦の会話時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	0.0%	0.5%	4.5%	3.5%	6.5%	7.0%
15分	9.0%	9.5%	8.0%	4.5%	9.0%	10.0%
30分	15.0%	20.5%	20.0%	11.0%	17.0%	22.0%
45分	2.0%	3.5%	3.5%	2.0%	5.5%	3.0%
1時間	24.0%	15.5%	18.0%	26.0%	31.0%	23.5%
1時間30分	8.0%	6.0%	7.0%	2.5%	4.0%	5.0%
2時間	19.0%	16.5%	18.5%	16.5%	13.5%	11.5%
2時間30分	1.5%	2.0%	2.5%	2.0%	1.0%	1.5%
3時間以上	21.5%	26.0%	20.0%	32.0%	12.5%	16.5%
平均時間	1時間32分	1時間33分	1時間25分	1時間43分	1時間11分	1時間14分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	22.5%	0.5%	9.5%	0.5%	9.5%	0.0%
15分	16.0%	0.0%	10.0%	1.5%	7.5%	2.0%
30分	21.5%	3.5%	20.0%	3.5%	19.5%	5.5%
45分	2.5%	1.0%	3.0%	0.5%	6.0%	3.0%
1時間	16.0%	11.5%	27.0%	14.0%	38.0%	19.0%
1時間30分	7.0%	12.0%	5.0%	9.5%	7.5%	16.0%
2時間	5.5%	18.5%	14.0%	19.0%	9.0%	28.0%
2時間30分	1.0%	10.5%	2.5%	7.0%	1.5%	3.5%
3時間以上	8.0%	42.5%	8.0%	44.5%	1.5%	23.0%
平均時間	48分	2時間13分	1時間5分	2時間12分	55分	1時間49分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
増やしたい	11.0%	20.5%	17.0%	22.5%	16.5%	9.5%
現状程度	58.0%	40.5%	61.0%	48.0%	52.0%	40.0%
減らしたい	8.5%	19.0%	12.5%	16.5%	19.0%	36.5%
一緒にしない	22.5%	20.0%	9.5%	13.0%	12.5%	14.0%

夫婦のイライラする時間

2025年年代別構成	夫					妻				
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	
増やしたい	22.0%	18.0%	14.0%	12.0%	10.0%	6.0%	14.0%	8.0%	8.0%	
現状程度	38.0%	56.0%	52.0%	62.0%	42.0%	38.0%	32.0%	48.0%	48.0%	
減らしたい	32.0%	18.0%	12.0%	14.0%	38.0%	44.0%	38.0%	26.0%	26.0%	
一緒にしない	8.0%	8.0%	22.0%	12.0%	10.0%	12.0%	16.0%	18.0%	18.0%	

夫婦のイライラする時間

夫→妻	2005年	2020年	2025年
	27.0%	33.5%	46.5%

妻→夫	2005年	2020年	2025年
	7.5%	10.0%	19.0%

	2005年	2020年	2025年
	18.5%	24.0%	19.5%
11.0%	23.5%	19.0%	
7.0%	9.5%	12.0%	
12.5%	13.0%	9.5%	
2.5%	6.5%	9.5%	
4.0%	11.5%	7.5%	
3.0%	12.0%	5.5%	

夫婦の会話時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	0.0%	0.5%	4.5%	3.5%	6.5%	7.0%
15分	9.0%	9.5%	8.0%	4.5%	9.0%	10.0%
30分	15.0%	20.5%	20.0%	11.0%	17.0%	22.0%
45分	2.0%	3.5%	3.5%	2.0%	5.5%	3.0%
1時間	24.0%	15.5%	18.0%	26.0%	31.0%	23.5%
1時間30分	8.0%	6.0%	7.0%	2.5%	4.0%	5.0%
2時間	19.0%	16.5%	18.5%	16.5%	13.5%	11.5%
2時間30分	1.5%	2.0%	2.5%	2.0%	1.0%	1.5%
3時間以上	21.5%	26.0%	20.0%	32.0%	12.5%	16.5%
平均時間	1時間32分	1時間33分	1時間25分	1時間43分	1時間11分	1時間14分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	22.5%	0.5%	9.5%	0.5%	9.5%	0.0%
15分	16.0%	0.0%	10.0%	1.5%	7.5%	2.0%
30分	21.5%	3.5%	20.0%	3.5%	19.5%	5.5%
45分	2.5%	1.0%	3.0%	0.5%	6.0%	3.0%
1時間	16.0%	11.5%	27.0%	14.0%	38.0%	19.0%
1時間30分	7.0%	12.0%	5.0%	9.5%	7.5%	16.0%
2時間	5.5%	18.5%	14.0%	19.0%	9.0%	28.0%
2時間30分	1.0%	10.5%	2.5%	7.0%	1.5%	3.5%
3時間以上	8.0%	42.5%	8.0%	44.5%	1.5%	23.0%
平均時間	48分	2時間13分	1時間5分	2時間12分	55分	1時間49分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
増やしたい	11.0%	20.5%	17.0%	22.5%	16.5%	9.5%
現状程度	58.0%	40.5%	61.0%	48.0%	52.0%	40.0%
減らしたい	8.5%	19.0%	12.5%	16.5%	19.0%	36.5%
一緒にしない	22.5%	20.0%	9.5%	13.0%	12.5%	14.0%

夫婦のイライラする時間

2025年年代別構成	夫					妻				
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	
増やしたい	22.0%	18.0%	14.0%	12.0%	10.0%	6.0%	14.0%	8.0%	8.0%	
現状程度	38.0%	56.0%	52.0%	62.0%	42.0%	38.0%	32.0%	48.0%	48.0%	
減らしたい	32.0%	18.0%	12.0%	14.0%	38.0%	44.0%	38.0%	26.0%	26.0%	
一緒にしない	8.0%	8.0%	22.0%	12.0%	10.0%	12.0%	16.0%	18.0%	18.0%	

夫婦のイライラする時間

夫→妻	2005年	2020年	2025年
	27.0%	33.5%	46.5%

妻→夫	2005年	2020年	2025年
	7.5%	10.0%	19.0%

	2005年	2020年	2025年
	18.5%	24.0%	19.5%
11.0%	23.5%	19.0%	
7.0%	9.5%	12.0%	
12.5%	13.0%	9.5%	
2.5%	6.5%	9.5%	
4.0%	11.5%	7.5%	
3.0%	12.0%	5.5%	

夫婦の会話時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	0.0%	0.5%	4.5%	3.5%	6.5%	7.0%
15分	9.0%	9.5%	8.0%	4.5%	9.0%	10.0%
30分	15.0%	20.5%	20.0%	11.0%	17.0%	22.0%
45分	2.0%	3.5%	3.5%	2.0%	5.5%	3.0%
1時間	24.0%	15.5%	18.0%	26.0%	31.0%	23.5%
1時間30分	8.0%	6.0%	7.0%	2.5%	4.0%	5.0%
2時間	19.0%	16.5%	18.5%	16.5%	13.5%	11.5%
2時間30分	1.5%	2.0%	2.5%	2.0%	1.0%	1.5%
3時間以上	21.5%	26.0%	20.0%	32.0%	12.5%	16.5%
平均時間	1時間32分	1時間33分	1時間25分	1時間43分	1時間11分	1時間14分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	22.5%	0.5%	9.5%	0.5%	9.5%	0.0%
15分	16.0%	0.0%	10.0%	1.5%	7.5%	2.0%
30分	21.5%	3.5%	20.0%	3.5%	19.5%	5.5%
45分	2.5%	1.0%	3.0%	0.5%	6.0%	3.0%
1時間	16.0%	11.5%	27.0%	14.0%	38.0%	19.0%
1時間30分	7.0%	12.0%	5.0%	9.5%	7.5%	16.0%
2時間	5.5%	18.5%	14.0%	19.0%	9.0%	28.0%
2時間30分	1.0%	10.5%	2.5%	7.0%	1.5%	3.5%
3時間以上	8.0%	42.5%	8.0%	44.5%	1.5%	23.0%
平均時間	48分	2時間13分	1時間5分	2時間12分	55分	1時間49分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
増やしたい	11.0%	20.5%	17.0%	22.5%	16.5%	9.5%
現状程度	58.0%	40.5%	61.0%	48.0%	52.0%	40.0%
減らしたい	8.5%	19.0%	12.5%	16.5%	19.0%	36.5%
一緒にしない	22.5%	20.0%	9.5%	13.0%	12.5%	14.0%

夫婦のイライラする時間

2025年年代別構成	夫					妻				
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	
増やしたい	22.0%	18.0%	14.0%	12.0%	10.0%	6.0%	14.0%	8.0%	8.0%	
現状程度	38.0%	56.0%	52.0%	62.0%	42.0%	38.0%	32.0%	48.0%	48.0%	
減らしたい	32.0%	18.0%	12.0%	14.0%	38.0%	44.0%	38.0%	26.0%	26.0%	
一緒にしない	8.0%	8.0%	22.0%	12.0%	10.0%	12.0%	16.0%	18.0%	18.0%	

夫婦のイライラする時間

夫→妻	2005年	2020年	2025年
	27.0%	33.5%	46.5%

妻→夫	2005年	2020年	2025年
	7.5%	10.0%	19.0%

	2005年	2020年	2025年
	18.5%	24.0%	19.5%
11.0%	23.5%	19.0%	
7.0%	9.5%	12.0%	
12.5%	13.0%	9.5%	
2.5%	6.5%	9.5%	
4.0%	11.5%	7.5%	
3.0%	12.0%	5.5%	

夫婦の会話時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	0.0%	0.5%	4.5%	3.5%	6.5%	7.0%
15分	9.0%	9.5%	8.0%	4.5%	9.0%	10.0%
30分	15.0%	20.5%	20.0%	11.0%	17.0%	22.0%
45分	2.0%	3.5%	3.5%	2.0%	5.5%	3.0%
1時間	24.0%	15.5%	18.0%	26.0%	31.0%	23.5%
1時間30分	8.0%	6.0%	7.0%	2.5%	4.0%	5.0%
2時間	19.0%	16.5%	18.5%	16.5%	13.5%	11.5%
2時間30分	1.5%	2.0%	2.5%	2.0%	1.0%	1.5%
3時間以上	21.5%	26.0%	20.0%	32.0%	12.5%	16.5%
平均時間	1時間32分	1時間33分	1時間25分	1時間43分	1時間11分	1時間14分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	22.5%	0.5%	9.5%	0.5%	9.5%	0.0%
15分	16.0%	0.0%	10.0%	1.5%	7.5%	2.0%
30分	21.5%	3.5%	20.0%	3.5%	19.5%	5.5%
45分	2.5%	1.0%	3.0%	0.5%	6.0%	3.0%
1時間	16.0%	11.5%	27.0%	14.0%	38.0%	19.0%
1時間30分	7.0%	12.0%	5.0%	9.5%	7.5%	16.0%
2時間	5.5%	18.5%	14.0%	19.0%	9.0%	28.0%
2時間30分	1.0%	10.5%	2.5%	7.0%	1.5%	3.5%
3時間以上	8.0%	42.5%	8.0%	44.5%	1.5%	23.0%
平均時間	48分	2時間13分	1時間5分	2時間12分	55分	1時間49分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
増やしたい	11.0%	20.5%	17.0%	22.5%	16.5%	9.5%
現状程度	58.0%	40.5%	61.0%	48.0%	52.0%	40.0%
減らしたい	8.5%	19.0%	12.5%	16.5%	19.0%	36.5%
一緒にしない	22.5%	20.0%	9.5%	13.0%	12.5%	14.0%

夫婦のイライラする時間

2025年年代別構成	夫					妻				
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	
増やしたい	22.0%	18.0%	14.0%	12.0%	10.0%	6.0%	14.0%	8.0%	8.0%	
現状程度	38.0%	56.0%	52.0%	62.0%	42.0%	38.0%	32.0%	48.0%	48.0%	
減らしたい	32.0%	18.0%	12.0%	14.0%	38.0%	44.0%	38.0%	26.0%	26.0%	
一緒にしない	8.0%	8.0%	22.0%	12.0%	10.0%	12.0%	16.0%	18.0%	18.0%	

夫婦のイライラする時間

夫→妻	2005年	2020年	2025年
	27.0%	33.5%	46.5%

妻→夫	2005年	2020年	2025年
	7.5%	10.0%	19.0%

	2005年	2020年	2025年
	18.5%	24.0%	19.5%
11.0%	23.5%	19.0%	
7.0%	9.5%	12.0%	
12.5%	13.0%	9.5%	
2.5%	6.5%	9.5%	
4.0%	11.5%	7.5%	
3.0%	12.0%	5.5%	

夫婦の会話時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	0.0%	0.5%	4.5%	3.5%	6.5%	7.0%
15分	9.0%	9.5%	8.0%	4.5%	9.0%	10.0%
30分	15.0%	20.5%	20.0%	11.0%	17.0%	22.0%
45分	2.0%	3.5%	3.5%	2.0%	5.5%	3.0%
1時間	24.0%	15.5%	18.0%	26.0%	31.0%	23.5%
1時間30分	8.0%	6.0%	7.0%	2.5%	4.0%	5.0%
2時間	19.0%	16.5%	18.5%	16.5%	13.5%	11.5%
2時間30分	1.5%	2.0%	2.5%	2.0%	1.0%	1.5%
3時間以上	21.5%	26.0%	20.0%	32.0%	12.5%	16.5%
平均時間	1時間32分	1時間33分	1時間25分	1時間43分	1時間11分	1時間14分

家事時間

	2005年		2020年		2025年	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
0分	22.5%	0.5%	9.5%	0.5%	9.5%	0.0%
15分	16.0%	0.0%	10.0%	1.5%	7.5%	2.0%
30分	21.5%	3.5%	20.0%	3.5%	19.5%	5.5%
45分						

PGI プラチナ・ジュエリー・ビジネスレビュー開催

ティム・シュリックCEO



パネルディスカッション



プラチナ・ギルド・インターナショナル(PGI)は、2025年5月にロンドンで、「新たな需要の時代に輝きを放つプラチナ・ジュエリー」をテーマに「プラチナ・ジュエリー・ビジネス・レビュー(PJBR 2025)」を開催した。プラチナ生産者、宝飾業界の専門家やリター、投資家、アナリストが一堂に会し、プラチナ・ジュエリーの新たな可能性を探った。

真正性と永続的価値の究極のシンボル

真実の貴金属プラチナ

その世界的な成長期を予測

この中でPGIのティム・シュリックCEOは、プラチナ宝飾品市場の過去と現在の状況を検証し、ホワイトゴールドからの転換を背景にプラチナ・ジュエリーの需要が大幅に増加する機会について説明した。

日本 インド アメリカ 中国

金からの転換と資産運用およびブライダル需要の増加も牽引
盛況のメンスジュエリーが中東地域での拡大も牽引
プラチナと金の価格差などでホワイトゴールドから移行加速
複数の金主体のメーカーが生産ラインをプラチナに

PGIグローバル・コーポレート・マーケティング・ディレクター、ジェン・リウから、2024年のプラチナ宝飾品市場の需要と2025年の見通しについても報告が行われた。PGIが各主要市場において、

戦略的な取り組みを通じて、いかに需要を喚起し、消費者と宝飾業界にプラチナの利点と価値を紹介しているかを提示した。

日本では、金とプラチナの価格差が拡大したため金の価格差が拡大したため金成を目的とした宝飾品への

嗜好の持続と婚姻件数のわずかな増加、ブライダル用プラチナ地金のシェア拡大、インバウンドの継続的前年増と予測される。ラボクロウン・ダイヤモンド市場の上昇も、平均販売価格を増やし利益率を最適化

嗜好の持続と婚姻件数のわずかな増加、ブライダル用プラチナ地金のシェア拡大、インバウンドの継続的前年増と予測される。ラボクロウン・ダイヤモンド市場の上昇も、平均販売価格を増やし利益率を最適化

嗜好の持続と婚姻件数のわずかな増加、ブライダル用プラチナ地金のシェア拡大、インバウンドの継続的前年増と予測される。ラボクロウン・ダイヤモンド市場の上昇も、平均販売価格を増やし利益率を最適化

また、PGIのジュエリーにおけるプラチナの新しいグローバル・ブランド・プロポジション「真実の貴金属(Metal of Truth)」も発表された。

これによりプラチナが真正性と永続的価値の究極のシンボルであることが強調され、人生の最も意義深い瞬間を彩る中心的役割を担

また、アメリカPGIでは、2024年6月、バルチラ・プラチナム社がアロイ・プラチナム合金イノウエ・プラチナを導入した。製造効率を向上させるこの合金は、これまでデザインやジュエリーから出されていた課題に 대응するように設計されており、発売以来、30社以上のメーカーがこの合金について試験を実施してきた。

また、PGIのジュエリーにおけるプラチナの新しいグローバル・ブランド・プロポジションは、プラチナを、そのような瞬間を尊重する貴金属として位置づけるものです。トレンドは変化しますが、真実は不変です。プラチナは真実の瞬間を最もよく映し出す貴金属なのです。

また、アメリカPGIでは、2024年6月、バルチラ・プラチナム社がアロイ・プラチナム合金イノウエ・プラチナを導入した。製造効率を向上させるこの合金は、これまでデザインやジュエリーから出されていた課題に 対応するように設計されており、発売以来、30社以上のメーカーがこの合金について試験を実施してきた。

また、アメリカPGIでは、2024年6月、バルチラ・プラチナム社がアロイ・プラチナム合金イノウエ・プラチナを導入した。製造効率を向上させるこの合金は、これまでデザインやジュエリーから出されていた課題に 対応するように設計されており、発売以来、30社以上のメーカーがこの合金について試験を実施してきた。

累計総輸出額は3兆3351億円

日本への累計総輸出額は2位 約2410億円

前年同期比
6.5%減少

9月輸出額香港4位 中国5位

一方、香港および中国向け輸出は前年を上回る2桁の増加を示したものの、日本向けの輸出金額を超えるには至らず、それぞれ4位、5位に留まりました。

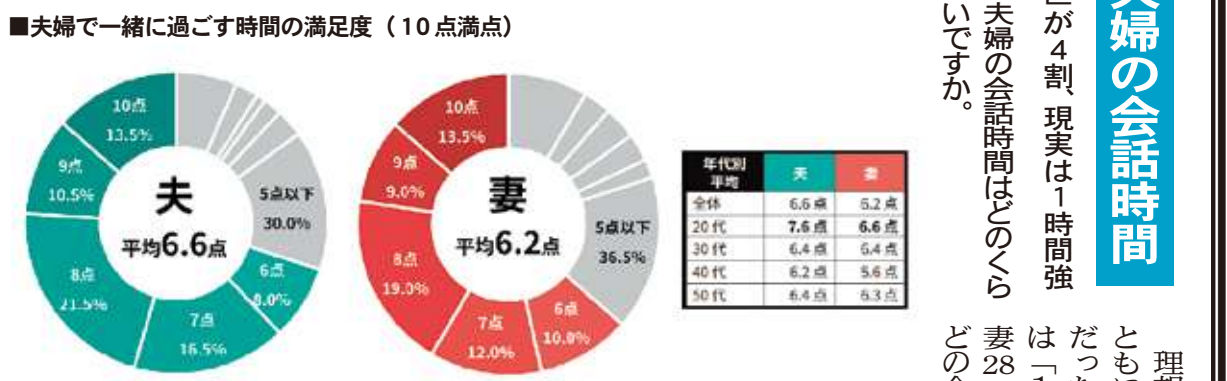
1月から9月までの日本向け累計輸出額は、前年同期比6.5%減の13億6980万スイスフラン(約2410億円)となり、2025年8月にアメリカ政府が発表したスイスからの輸入品(時計を含む)に対する39%の関税の影響があるため、日本はアメリカに次ぐ第2位の輸出先として、スイス時計輸出額全体における大きなシェアを維持している。

近畿時計宝飾眼鏡小売組合連合会は11月18日、和歌山市立有吉佐和子記念館で「近畿ブロック会議」を開催した。会議には大阪から辰巳貢一理事長、江藤克二専務理事、京都から渡邊道大理事長、井上良人副理事長が参加し、開催担当の和歌山からは芝久芳理事長をはじめ大畑宣雄副理事長、山田裕孝専務理事、平松博会計理事、廣井研一事業部長が臨んだ。

主要議題は「今後の近畿ブロック及び組合のあり方」。業界環境の変化がもたらす影響を踏まえ、各組合が抱える課題を共有し、併せて和歌山組合の解散が正式に発表され、今後は任意の情報交換組織としての存続可能性についても議論が及んだ。

「和歌山組合の解散」 広域連携の方向性を協議

理想				現実 (Q1 夫婦の会話時間)			
夫		妻		夫		妻	
0分	5.0%	4.5%	30分以下	6.5%	9.0%	7.0%	30分以下
15分	3.5%	3.5%	30分以下	9.0%	32.5%	10.0%	30分以下
30分	8.0%	10.5%	30分以下	17.0%		22.0%	30分以下
45分	3.5%	5.0%	30分以下	5.5%		3.0%	30分以下
1時間	31.0%	28.5%	30分以下	31.0%		23.5%	30分以下
1時間30分	10.0%	7.0%	30分以下	4.0%		5.0%	30分以下
2時間	19.0%	20.0%	30分以下	13.5%		11.5%	30分以下
2時間30分	1.0%	1.5%	30分以下	1.0%		1.5%	30分以下
3時間以上	19.0%	19.5%	30分以下	12.5%		16.5%	30分以下
平均時間	1時間31分	1時間31分	30分以下	1時間11分		1時間14分	30分以下



■夫婦で特別な日は予定調整するか								
	夫				妻			
	20代	30代	40代	50代	20代	30代	40代	50代
はい	80.0%	68.0%	56.0%	54.0%	86.0%	52.0%	58.0%	44.0%
いいえ	20.0%	32.0%	44.0%	46.0%	14.0%	48.0%	42.0%	56.0%

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

スイス時計協会発表

25年1月から9月の
スイス時計輸出結果

9月輸出国ランク 米国1位から3位に

スイス時計協会(FH)は、このほか2025年1月から9月までのスイス時計輸出結果および日本への輸出状況を公表した。

「近畿ブロック会議」和歌山で開催



近畿ブロック会議会場 (＝和歌山・有吉佐和子記念館)

シチズン調査 時間意識

〈1面から続く〉

20年の変化で見る 夫婦の時間

全国の既婚男女
400人アンケート

理想と現実の夫婦の会話時間
理想は「2時間以上」が4割、現実1時間強
休日1日あたりの理想的な夫婦の会話時間はどのくらいか。

理想の会話時間は、夫婦ともに平均「1時間31分」だった。最も多かった回答は「1時間」(夫31.0%、妻28.5%)で、それほど

理想の会話時間は、夫婦ともに平均「1時間31分」だった。最も多かった回答は「1時間」(夫31.0%、妻28.5%)で、それほど

理想の会話時間は、夫婦ともに平均「1時間31分」だった。最も多かった回答は「1時間」(夫31.0%、妻28.5%)で、それほど

理想の会話時間は、夫婦ともに平均「1時間31分」だった。最も多かった回答は「1時間」(夫31.0%、妻28.5%)で、それほど

理想の会話時間は、夫婦ともに平均「1時間31分」だった。最も多かった回答は「1時間」(夫31.0%、妻28.5%)で、それほど

夫婦の時間に対する満足度

20代は高評価 育児・仕事に重なる40代は厳しめの声
夫婦で一緒に過ごす時間の満足度は、10点満点で回答してください。

夫婦で一緒に過ごす時間の満足度は、10点満点で回答してください。

夫婦で一緒に過ごす時間の満足度は、10点満点で回答してください。

特別な日の予定調整意識

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

「夫婦一緒に過ごしたい」20代は8割超に保つために「予定を調整する」と回答した人は、20代で80.0%、妻86.0%と8割を超えた。若い世代は特別な日の時間を重視する傾向がうかがえる。年代が上がると割り

結婚記念日や誕生日などの特別な日に、夫婦で一緒に過ごす時間を確保するため、事前に休暇を取ったり予定を調整したりすることがあります。

結婚記念日や誕生日などの特別な日に、夫婦で一緒に過ごす時間を確保するため、事前に休暇を取ったり予定を調整したりすることがあります。

結婚記念日や誕生日などの特別な日に、夫婦で一緒に過ごす時間を確保するため、事前に休暇を取ったり予定を調整したりすることがあります。

至福の着け心地は、
大人たちの時間のために

じっくりとたた静かに、
自分だけの時間を愉しむ大人たちへ。
わずか1.00mmのムーブメントがもたらす
何物にも代えがたい心地よさをその腕に。

Eco-Drive One

CITIZEN

AR6054-51E 473,000円 (税抜価格 430,000円)
シチズン時計株式会社 <https://citizen.jp>

眼鏡・光学器

裸眼視力1.0未満の子供の割合が増加中

文科省の学校保健統計調査



子供たちの目を守るために 知っておきたい近視の知識

文部科学省の学校保健統計調査において、日本における裸眼視力1.0未満の子供の割合は、約40年前と比べて増加傾向にあることがわかった。

裸眼視力1.0未満の子供の全てが近視であるとは限らないが、そのうち、約8割は近視であることが指摘されている。また、令和5年度「児童生徒の近視実態調査事業（以下、「近視実態調査」という）」においても、370万方式視力測定法で裸眼視力の判定（※1）がB、C又はDとされ、近視の定義（※2）に該当する割合は、それぞれ

▼近視は、将来の目の病気との関連が大きいことが分かってきています。

近視のほとんどは軸性近視であり、軸性近視とは眼球の形が前後方向に長くな

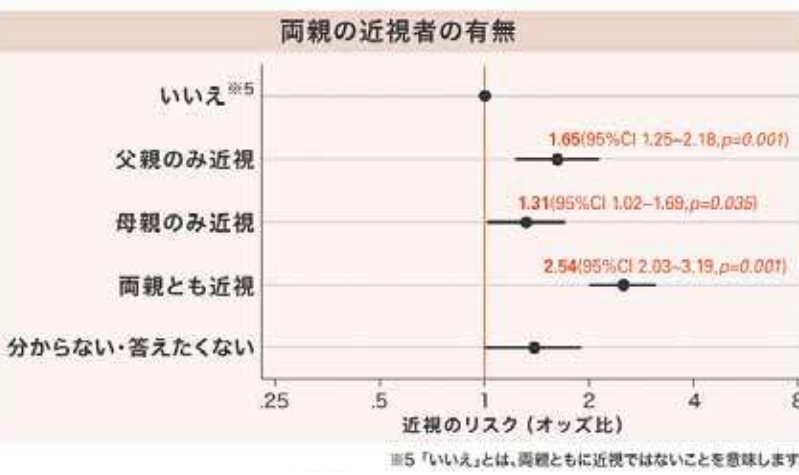
▼近視は、遺伝要因と環境要因の両方が関係すると言われている

近視は、遺伝要因と環境要因の両方が関係すると言われているが、近年の近視の増加は、環境による影響が大きいと考えられている。近視実態調査では、どちらか一方の親が近視である場合、両親とも近視ではない場合と比べ、近視の新規発症（※4）との関連が大きいことが示唆された。

一方、環境要因として屋外で過ごす時間の減少や近業（近い所を見る作業）の増加等が指摘されている。

※1 視力の判定については、視力1.0以上をA、同0.9～0.7をB、同0.6～0.5をC、同0.4未満をDと区分される。

※2 近視実態調査における近視の定義は、「眼軸長（平均角膜曲率半径（A L/C R）比2.95以上かつ等価球面度数・0.5D以下」を用いている。



サンレオ

ゴールド&シルバーカップ

製造発売元 ヤマト徽章株式会社

〒113-0001 東京都文京区白山1-26-19 TEL03(3814)5171(代表)

URL: http://www.sunleo.gr.jp/yamato

『低姿勢・大関』安青錦『横綱への課題』

パワーに頼らず技術で勝負のウクライナ力士

今年は大相撲が例年以上に盛り上がった。3月場所、5月場所に連続優勝した大の里が初土俵から所要13場所の最速記録で横綱に昇進。9月場所でも賜杯を手

にして土俵を沸かし、豊昇龍との2人横綱に好角家はかりでな。多くの国民が熱狂した。そして11月場所に初優勝し、所要14場所で大関昇進を決めた安青錦も旋風を巻き起こした。

猫司に続く、2人目のウクライナ出身であり、序ノ口からスタートした力士に限れば年6場所にたった1958年以降に限れば最速記録だ。

母国で柔道に励んでいたところ、たまたまマツト型の土俵を見かけたの

アがウクライナに軍事侵攻。安青錦は縁があった大相撲部主将に連絡し、再来日。主将の家に居候をしながら相撲の稽古に邁進し、同年、安治川部屋の研修生となった。103cm・166kgの猫司、198cm・193kgの元大関把瑤都、欧州出身力士は巨体が多いが、安青錦は182cm・136kgと軽量級。

パワーに頼らず、技術で勝負するタイプ。低い姿勢で頭を下げ、出し投げを決める姿は、それ

飛距離を稼ぎ、打ちやすいユーティリティークラブが進化して、昨今のアイアンは、昨今のアイアンが決め手だ。信じ込んで6番からロングアイアンがアマチュアのキャディバックから消え、久しくなりました。

それでも、「トラフルショットのために4番アイアンをキャディバックに入れている」というアマチュアもたまに見かけます。ドライバーショットを曲げ、林にボールを打ち込んで

林からの脱出はロングアイアンと決めつけられない。ロフトの少ない番手なら、低く打ち出すことができます。

だが、実際にボールのどこまで行くと、思いのほかに目の前にスペースがあって開けていることがある。そんな時は、ロングアイアンで低く出すよりも、ウェッジのほうが脱出はしやすい。

目の前に枝が垂れ下がってボールを上げられないのなら、まっすぐ打つ。1回うまくいくかいかないかわからない。というショットを試みる。これはギャンブル以外の何物でもありません。

林に入ったら、反対側の林に入ってしまう。リンスもある。30ヤードの林からの脱出も、格好のアプローチ練習になる。アプローチの成否がスコア100切りの大きな鍵を握ると言っても過言ではありません。

林にボールが入ったらロングアイアンだと決めつけず、必ずアプローチ用のクラブを忘れないようにしましょう。

スコアアップの近道

プロゴルファー小野寺誠の極意

1970年生まれ、東京都出身。16歳で渡米して江連志プロロ合、試合を転戦しながらゴルフ最新理論を学ぶ。96年日全リスト合格。多くのプロアマを指導し、レッスンを大人気

だが、実際にボールのどこまで行くと、思いのほかに目の前にスペースがあって開けていることがある。そんな時は、ロングアイアンで低く出すよりも、ウェッジのほうが脱出はしやすい。

目の前に枝が垂れ下がってボールを上げられないのなら、まっすぐ打つ。1回うまくいくかいかないかわからない。というショットを試みる。これはギャンブル以外の何物でもありません。

林に入ったら、反対側の林に入ってしまう。リンスもある。30ヤードの林からの脱出も、格好のアプローチ練習になる。アプローチの成否がスコア100切りの大きな鍵を握ると言っても過言ではありません。

林にボールが入ったらロングアイアンだと決めつけず、必ずアプローチ用のクラブを忘れないようにしましょう。

「眼鏡公正競争規約」改訂版が官報に告示

日本メガネ協会（風早昭正代表理事、略称「日メ協」）の眼鏡公正取引協議委員会（平岩幸一委員長）が進めていた「眼鏡公正取引競争規約」の一部改定に対し、2025年10月22日付

で、公正取引委員会及び消費者庁で認定され、11月18日付の内閣府発行の官報1591号に告示された。

主な改定箇所は、インターネットを利用した広告宣伝活動など時流に沿った表記に変更したほか、製造業者に課する罰則、さらに実施する機関が、眼鏡公正取引協議会から日メ協の眼鏡公正取引協議委員会に移行したために、運営母体に

関わる表記などがある。日メ協では、改定された競争規約を周知徹底するため、日本メガネ協会のホームページ（<https://jma-zaibyo.jp>）で告知した他に、小売店等のマイページでは、同競争規約全文掲載した他、新しくなった会員証（写真）をダウンロードして使用できるようにした。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

IOFT特別セミナーのリカレント教育が公開に

2025年度IOFTリカレントセミナー

眼鏡フレーム設計図面の読み解き方と快適性の理解

2025(令和7年)10月13日

NECO no.「ファッション」部会主催

後援：日本眼鏡技術者協会

代表講師：岩崎 圭吾

日本メガネ協会（東京都中央区、風早昭正代表理事、略称「日メ協」）は、11月21日から、日メ協の眼鏡製作技能士会を対象にした「リカレント教育」の最新プログラムを期間限定付き（2026年5月20日まで）で公開した。今回のプログラムは、「IOFT2025」の会期初日（10月1日）に行ったりカレント教育の動画版で、当日受講できなかった会員が対象。受講料は無料。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

公開されたプログラムのメインテーマは、「ファッション」としてのメガネの魅力を支えるフレーム×レンズの最新技術紹介」。2講座の構成。

時計工芸新聞の「購読、広告掲載のお申し込みは」

03-3501-9727

金・銀・プラチナの社章で多数の実績

128年の歴史と信用で培った松本徽章工業の徽章製造技術を、貴社の売上増進にお役立て下さい。

★80%はOEM製造です。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

★パズ専用パンフレットをご用意しております。

創業明治30年 松本徽章工業株式会社

<http://www.matsumoto-kisho.co.jp>

本社 〒111-8566 東京都台東区元浅草1-12-2
TEL 03-3842-6161(代表)・FAX 03-3845-6267
営業部第3グループ

日本橋営業所 TEL03-3241-3581・横浜支社 TEL045-252-5175

真心と感動を パッケージングする、エーワ

<http://eiwabox.com>

EIWA エーワ

〒110-0016 東京都台東区台東4-18-10
TEL 03(3834)3491 FAX 03(3835)4729
〒543-0074 大阪市天王寺区六万6千420エルエムビル2F
TEL 06(6774)6400 FAX 06(6774)6403

東海オンエア」としてみつ」とのコラボ

ファンを魅了し続ける動画クリエイター。

「Zoff」TOSHIMITSUは、自身のファッションスタイルを軸にしたデザインした「TOKAI ONAIR」TOSHIMITSUの頭文字である「TOSHIMITSU」を、12月5日(金)に全国の25店舗および公式オンラインストアで先行予約受付を開始している。

「としてみつ」は愛知県岡崎市を拠点に活動する「としてみつ」チャンネル登録者数710万人超の6人組動画クリエイター「東海オンエア」のメンバーで、自身の感性やセンスを生かしたイベントやグッズのプロデュースを担当。ソロアーティストとしても活動し、音楽と映像の両面から

【概要】

- ・商品名「Zoff TOSHIMITSU」
- ・種類・価格「メガネ4型各3色全12種、1万1000円〜1万4400円(セッティング代込) サンクラス1型3種1万4400円、Web限定調光サンクラス2種1万3300円、1万4400円
- ※オリジナルケース・メガネ拭き付き。

